TIGER MFG.CO.,LTD. SINCE 1951

（電子コントロール式自動爆音機）

バードパンチャー

型式　LPE－BP2（カセットガスタイプ）
BPP2（プロパンガスタイプ）

取扱説明書

ご使用の前に

安全上のご注意 …1～2
各部の名称と働き（本体） …3
各部の名称と働き（コントロール部） …4
設置準備 …4

組立と操作

本体の設置と組立 …5～6
電子コントローラーの設置と配線 …7
ボンベの接続 …8～9
電磁弁コードの接続 …10
操作方法（動作開始）…10～12

お知らせ

補足 …12
故障かなと思ったら …13～14
仕様・能力 …15

・このたびは「**バードパンチャー**」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・ご使用前に　この取扱説明書の内容をご理解したうえ、ご使用ください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

安全上のご注意

本製品の設置および使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに表示されている注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害・損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容なので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し説明しています。

危険　警告　注意

「してはいけないこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

危険 誤った取扱いをすると、死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

■雷発生時の設置・使用の禁止

雷が発生しているときは、本機に近づかないでください。また、設置中の場合は速やかに設置を中止し本機から離れてください。
落雷による感電のおそれがあります。

■心疾患をお持ちの方は本機に触れない

心疾患をお持ちの方は本機には絶対に触れないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

■燃えやすいものの近くで使用しない

本機の周囲５m以内には、農作物や樹木などの可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。

■使用中は本機に近づかない

特に爆音筒をのぞき込んだり、耳を近づけたりしないでください。
失聴、難聴、やけどの原因となります。

■本機を改造・加工・修理しない

修理技術者以外、分解・修理しないでください。
故障・破損した場合は使用しないでください。
異常動作の原因になります。

■使用中は耳栓をつける

本器を操作したり、やむを得ず使用中に近づいたりする場合は、必ず耳栓をつけてください。
失聴、難聴の原因となります。

■心疾患をお持ちの方は本機に近づかない

心疾患をお持ちの方は本機には絶対に近づかないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

■不安定な場所で使用しない

過度の傾斜地・砂地・泥地など不安定な場所では設置しないでください。
本機が転倒し、火災の原因となります。

■危険表示板の設置

他の人々が不用意に近づかないよう、人に見えるところに危険表示板を設置してください。

■建物や壁の近くで使用しない

音が反響しやすい建物や壁の近くで使用すると、予想以上の爆音が発生する場合があります。このような場所で使用しないでください。
失聴、難聴の原因となります。

■人家の近くや公道の近くで使用しない

目安として、民家から350m以上、公道から100m以上離した場所でご使用ください。また、筒先を民家に向けないでください。

安全上のご注意

注意 誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

■早朝・夜間の使用は避ける

早朝・夜間の使用は周囲の迷惑になりますので、なるべく使用を避けてください。
また、使用する市町村の騒音に関する条例を遵守して使用してください。

■本体を落としたり、当てたりしない

本機の破損・故障の原因になります。また、万が一破損した場合は使用しないでください。
火災・ケガ・ガス漏れの原因になります。

■高圧コード・ゴム管を傷つけない

高圧コード・ゴム管などを踏んだり、重いものを乗せたり傷つけたりして破損しないでください。
感電・故障・ガス漏れの原因になります。

■耳栓をしていても、むやみに近づかない

特に爆風を受ける場所では、耳栓をしていても失聴、難聴になる可能性があります。むやみに近づかないでください。

■水没する場所や湿気の多い場所では使用しない

電子コントローラに水滴がつくと故障の原因になります。
雨量の多いとき水没する可能性がある場所や、湿気が多い場所などでは使用しないでください。
故障の原因となります。

■風の強いときは使用しない

強風により本機が転倒・破損する場合があります。
風の強さが風速6m以上になったら使用を中止してください。
火災・やけどの原因になります。

■使用中および使用直後は爆音筒に触らない

使用中・使用直後は爆音筒および混合管などが高温になっています。むやみに触らないでください。
やけどの原因となります。

■点検を行う

本機設置後は必ず最低1日1回の安全点検を行ってください。
火災・故障の防止となります。

■弊社純正品以外の使用の禁止

点火プラグや消耗部品などは、弊社純正品を使用してください。
事故や故障の原因となります。

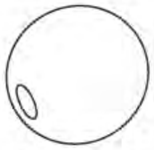
■濡れた手で触らない

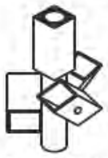
濡れた手で電子コントローラなど電子部品を操作したり、触れたりしないでください。
故障・感電の原因になります

同梱品（共通）

発射筒完備（混合管付）

ボール締付用ドライバー ×2


パンチボール

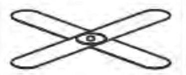

ジョイント

コントロールボックス脚

脚 ×3

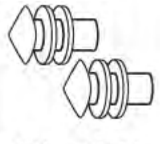
ポール（中間 ×2 天板付 ×1）

バードパンチャー取扱説明書


おどし羽根 ×2

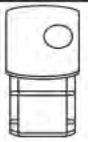
杭 ×3

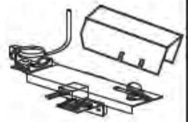
危険表示板 ×2


耳栓 （1組）

防風カバー

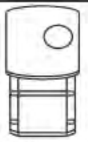
（カセットガスタイプ）


電子コントローラ完備（カセットガスタイプ用）

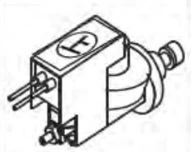

カセットボンベ台完備

＋ 又は

（プロパンガスタイプ）

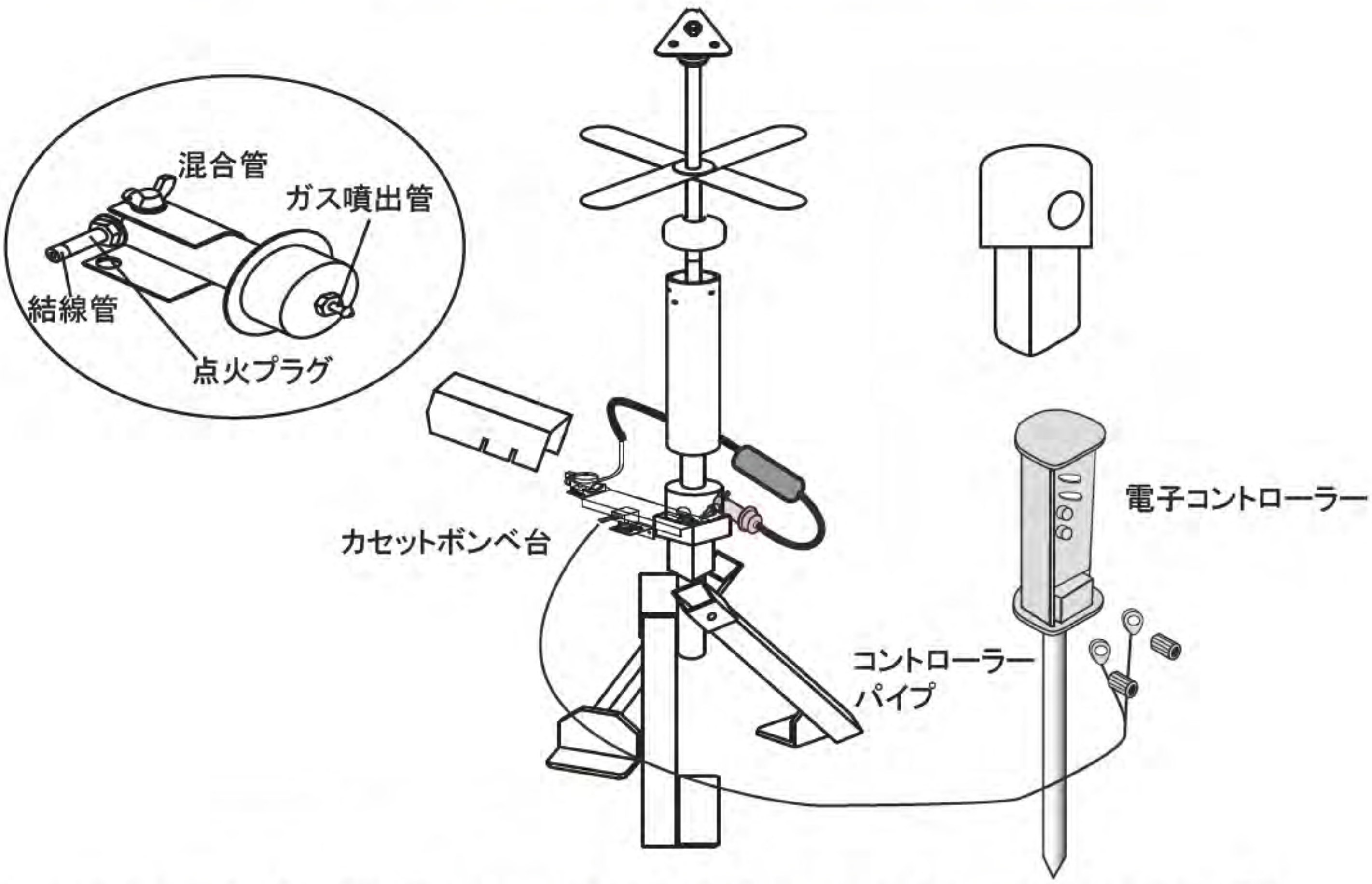

電子コントローラ完備（プロパンガスタイプ用）

LPガス圧力調整器取扱説明書

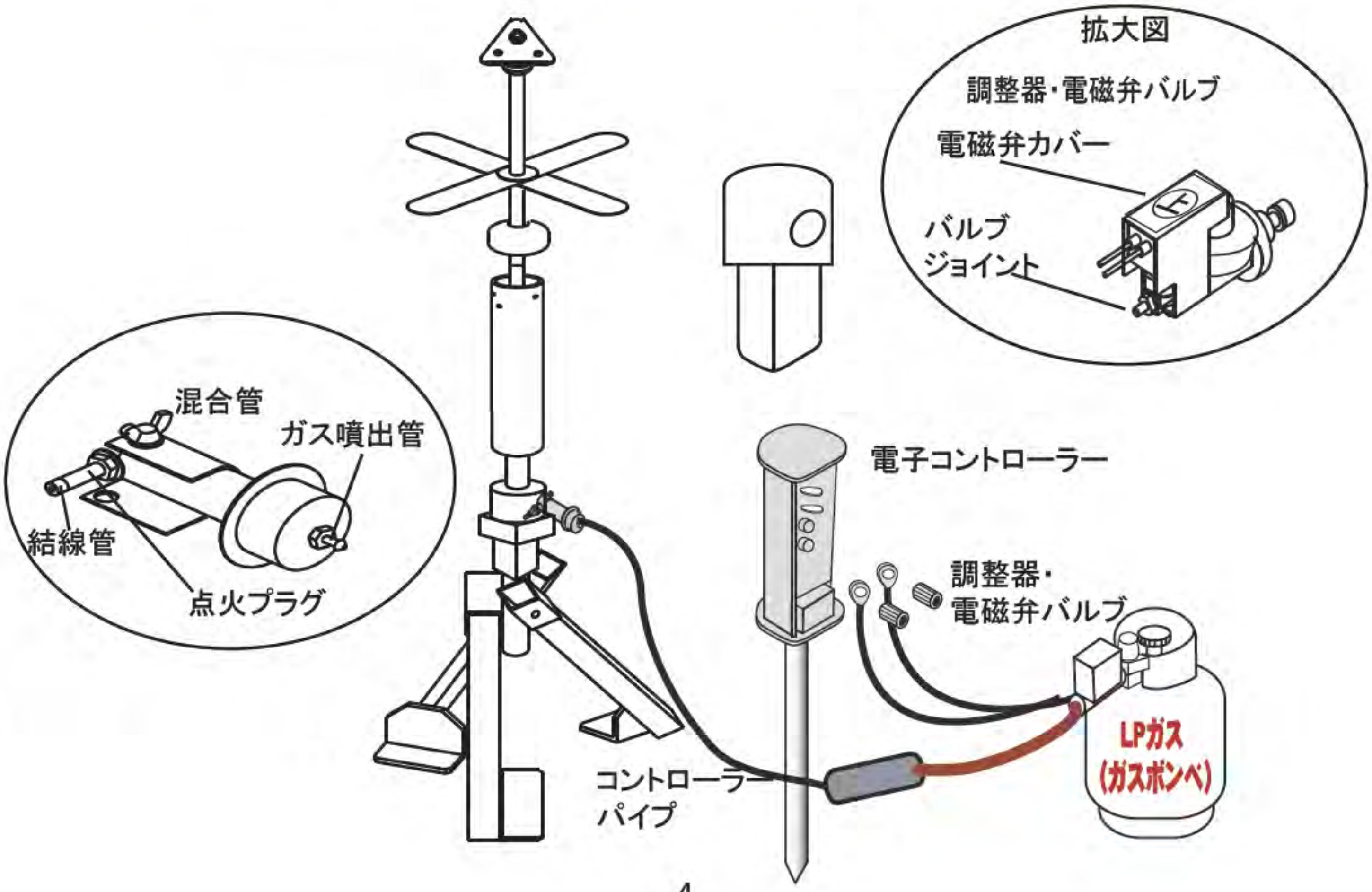

調整器完備

ガス溜付ゴム管

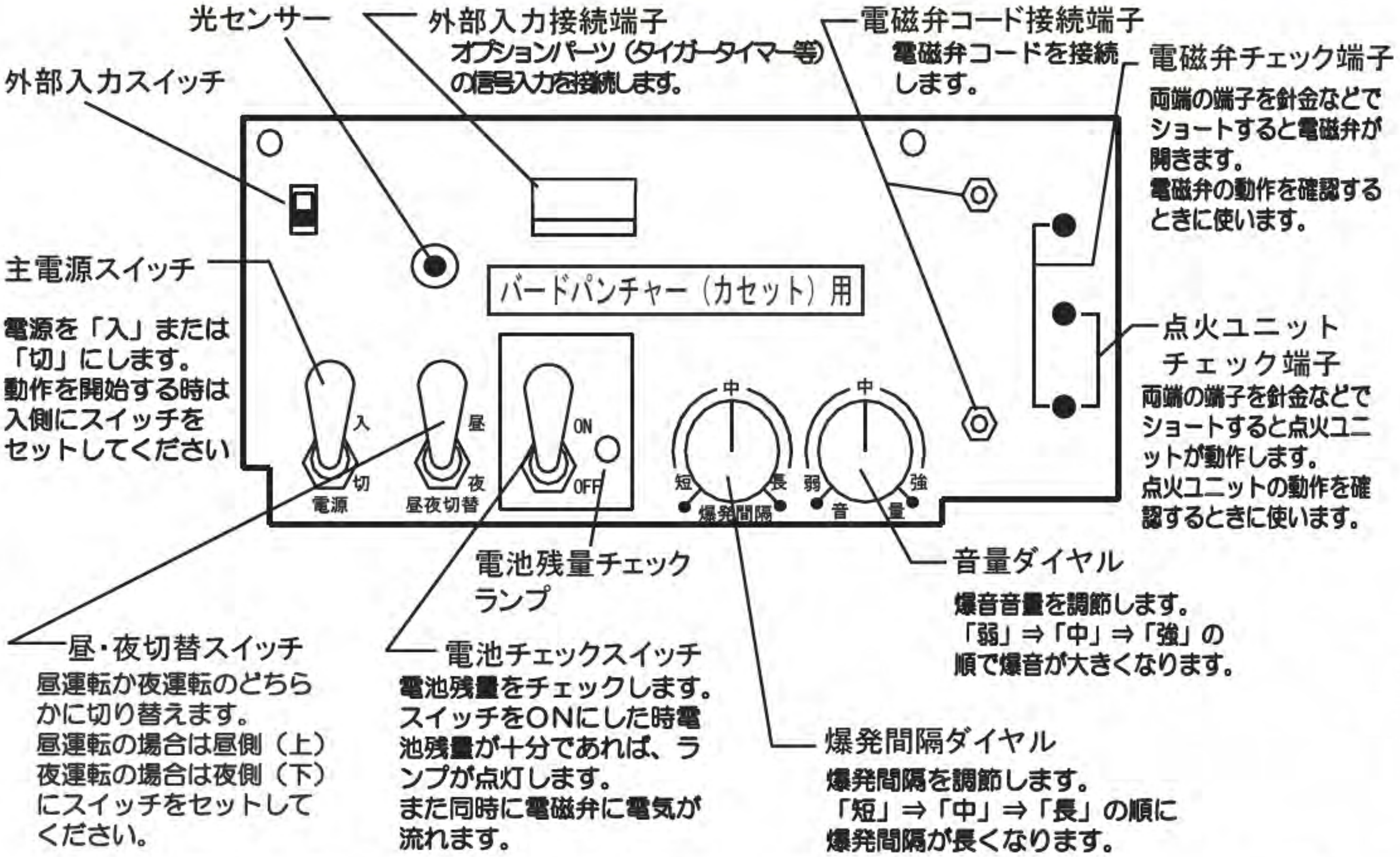
各部の名称と働き（カセットガスタイプ　LPE－BP2本体）



各部の名称と働き（プロパンガスタイプ　LPE－BPP2本体）



コントロール基板



注）コントロール基板は爆音機の機種ごとに異なります。
操作方法は共通です。

設置準備

＜カセットガスタイプ（LPE－BP2）、プロパンガスタイプ（LPE－BPP2）共通＞

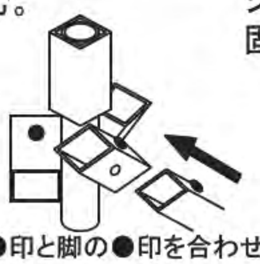
①１㎡程度の平らな場所を確保します。凸凹や傾斜がある場合には平らにならしてください。
また、確保した場所付近５m以内にある農作物や草木など燃えやすいものは除去してください。

本体の設置と組立

<カセットガスタイプ(LPE－BP2)、プロパンガスタイプ(LPE－BPP2)共通>

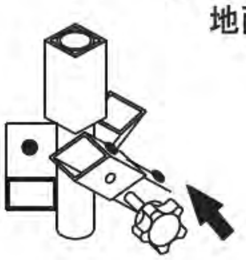
①「**ジョイント金具**」の脚取付穴に脚を「**脚（3本）**」を差込み、「**ノブボルト**」で「**脚**」をしっかり固定します。3本の「**脚**」をすべて固定しましたら「**脚**」を定位置に「**杭**」で固定してください。

1. ジョイント金具に脚を差込む。

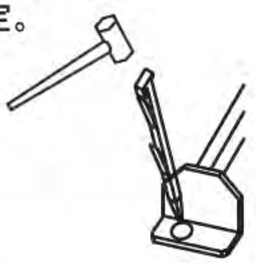


※ジョイント金具の●印と脚の●印を合わせる

2. ノブボルトで脚をジョイント金具に固定する。

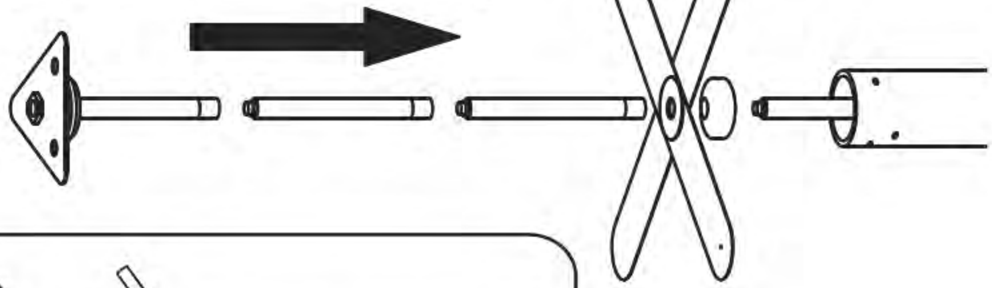


3. 脚を定位置に杭で地面に固定。

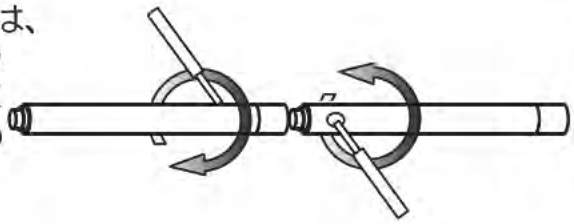


②発射筒を横にして**パンチボール、おどし羽根**の順で発射筒に取付けてあるポールに差込みます。次に**「ポール2（中）」**を2本を取付け、最後に天板・上部ジャバラが付いた**「ポール1（上下）」**を取付けます。

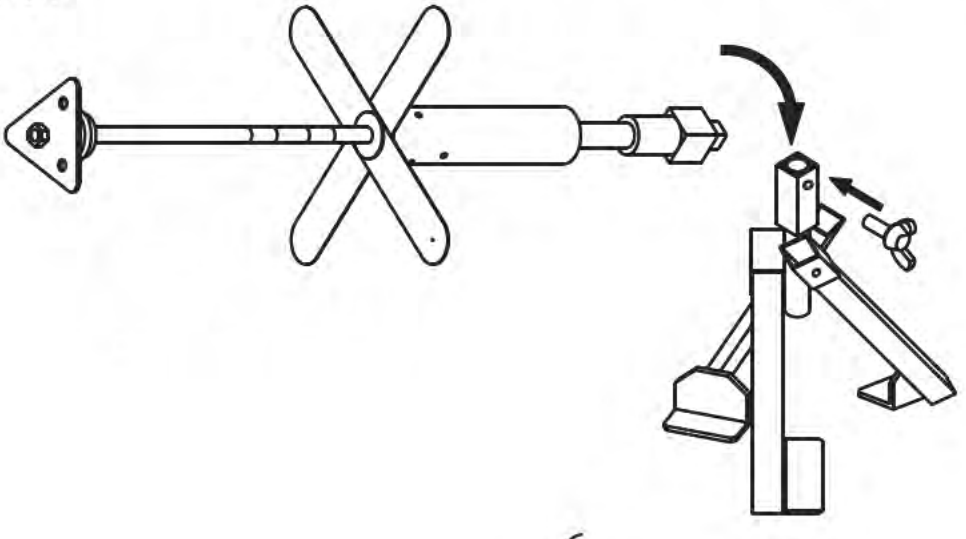
注)パンチボールとおどし羽根の順番を間違えないようにしてください。



注）ポールを取付ける際は、「ポール締め付け用ドライバー」をポールの穴に差込んでしっかりと締め付けてください。



③「**②の発射筒**」を起こし、「**①のジョイント金具**」に取付けて、「**蝶ボルト**」でしっかりと固定します。



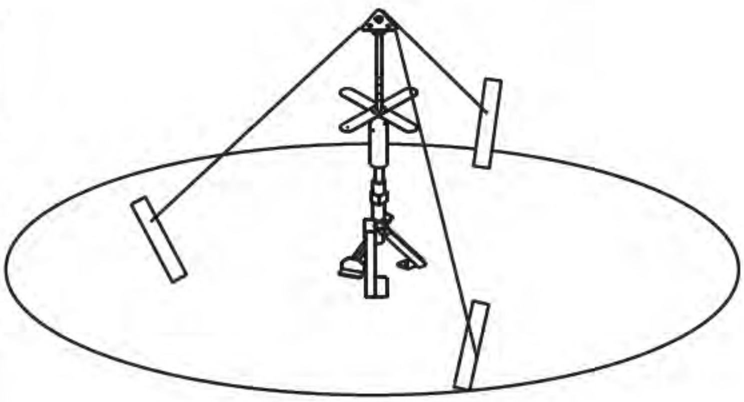
本体の設置と組立

<カセットガスタイプ(LPE－BP2)、プロパンガスタイプ(LPE－BPP2)共通>

⑤ポールが垂直に立つように調整します。据え付けの地面が多少傾斜してポールが垂直に立たない場合は脚の差し込み深さを調節してポールが垂直になるように調整してください。

注)風の強い(風速6m以上)ときは、
爆発が安定しない場合がありますので
ご注意願います。

補足
風の強い場所や地盤が不安定な場所で
ご使用の際には天板からロープ3本を張り
ポールを固定してください。

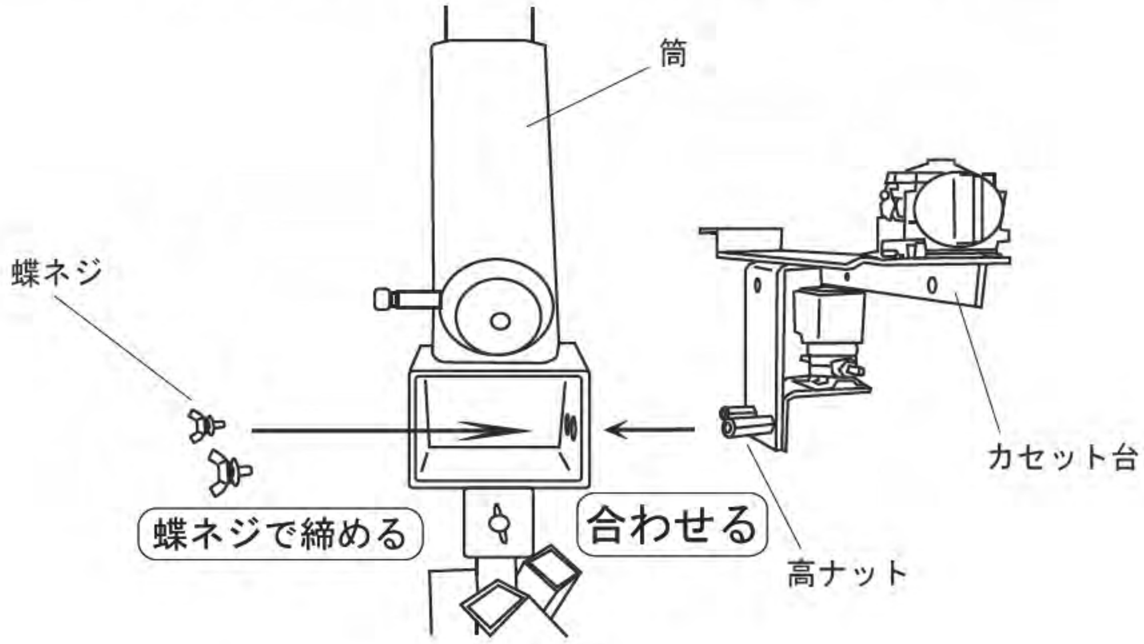


本体とカセット台の組立

<カセットガスタイプ (LPE-BP2) >

①高ナットについている蝶ボルトを外してください。

②筒横の２ヶ所穴が空いている所に、カセット台の高ナットを合わせてください。



③①で外した蝶ネジを内側からしっかりと締めてください。

④カセットガスをセットし、カセットカバーを被せてください。

電子コントローラーの設置と配線

<カセットガスタイプ(LPE－BP2)、プロパンガスタイプ(LPE－BPP2)共通>

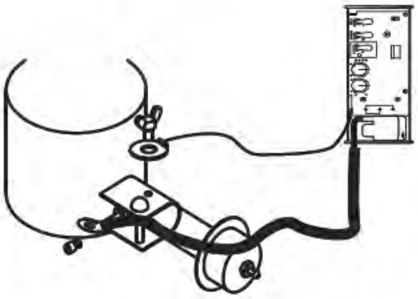
①「**コントローラーパイプ**」に付属の「**当て金**」をかぶせ、地面に打ち込んでください。

②「**当て金**」を外して「**コントローラーパイプ**」に「**電子コントローラー**」をセットします。
「**コントローラーパイプ**」にある蝶ネジに「**電子コントローラー**」の切込みがある面を合わせて差しこみ、「**アース線**」のＹ型端子と一緒に蝶ネジでしっかりと固定します。

注)コントローラーには光センサーが付いていますので
樹木等物陰で極端に
遮光されないように
してください。

③「**電子コントローラー**」から出ている「**高圧コード**」（黒色で太い線）を「**混合管**」の「**点火プラグ**」に取付け、「**アース線**」（緑色で細い線）の丸端子を「**混合管**」の蝶ボルトに取付けます。

高圧コードと
アース線を取
付ける。

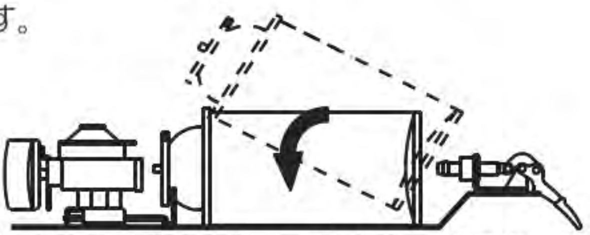


ガスボンベの接続

＜カセットガスタイプ（LPE－BP2）の場合＞

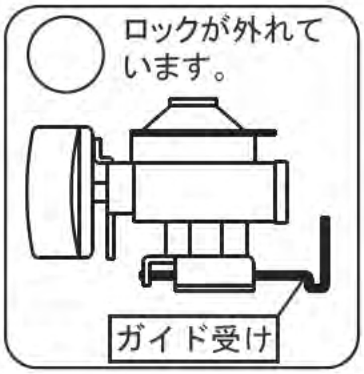
①「調整器」にカセットボンベを接続して固定します。

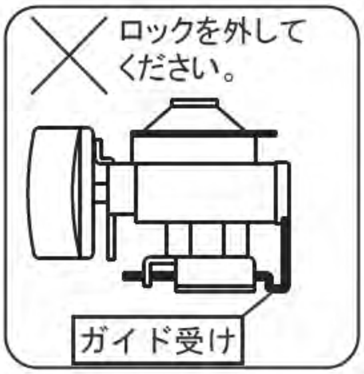
1）カセットボンベの底を「**クランプ**」の先端に押し付けるようにして「**ボンベ台**」にカセットボンベを置きます。

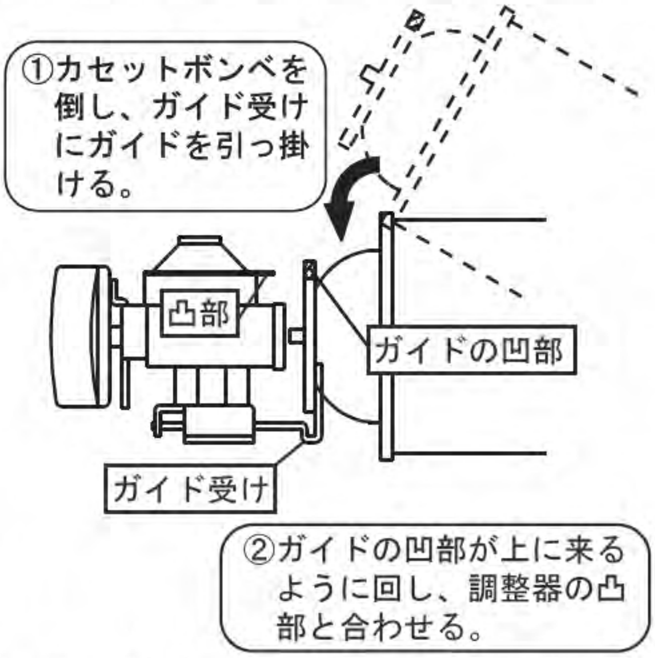


2）カセットボンベのガイドを「**調整器**」のガイド受けに引っ掛けて、カセットボンベのガイドの凹部が上に来るようにカセットボンベを回し、ガイドの凹部を調整器の凸部にあわせください。

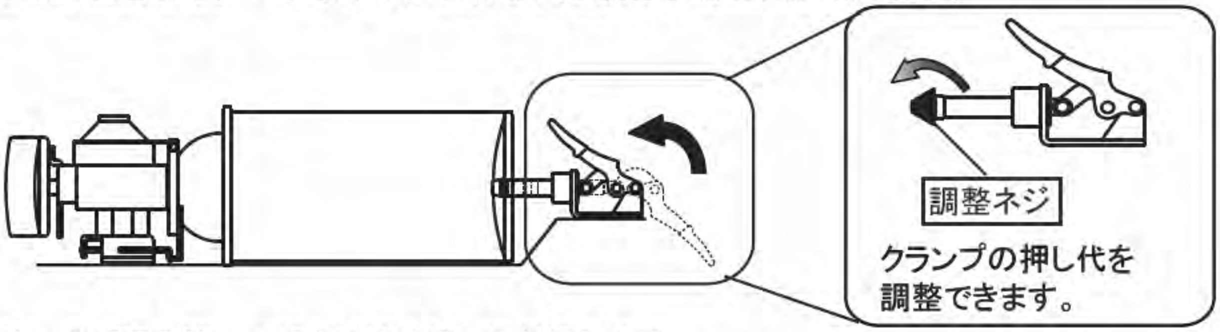
注）
カセットボンベのガイドが引っ掛からないときは調整器のガイド受けがロックしている可能性があります。調整器のつまみを右方向に回しロックを解除してください。





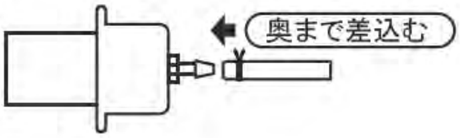


3）「**クランプのレバー**」をカセットボンベ側に倒してください。このとき、調整器が「カチッ」と音が鳴ることを確認してください。調整器が「カチッ」っとならないときはクランプの調整ネジを回して、「**クランプ**」の押し代を調整することができます。



②「**ゴム管**」を「**混合管**」の「**ガス噴出管**」に差込みます。
この時、予め「**ゴム管**」の先端に「**ホースクリップ**」を配置して「**ゴム管**」と一緒に差込むと、「**ホースクリップ**」の取付けが簡単になります。

注）ゴム管内にゴミや泥などがあるとガス噴出管が詰り音が小さくなったり鳴らないことがあります。
取付の際は、ゴム管にゴミや泥が無いことを確かめてから作業してください。

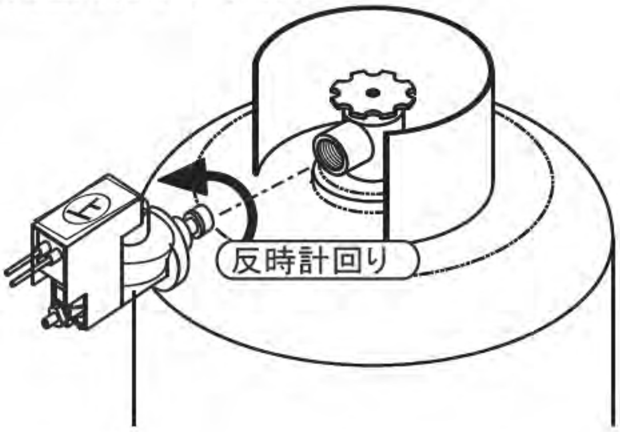


ガスボンベの接続

＜プロパンガスタイプ（LPE－BPP2）の場合＞

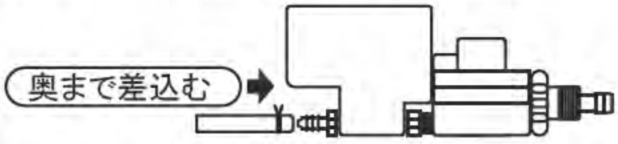
①ガスボンベに「**調整器**」を取り付けます。ガスが漏れないようしっかりと締めてください。
「**調整器**」のネジは左巻きです。反時計回りに締めてください。
「**電磁弁カバー**」の㊤シールが上向きになるよう取り付けてください。

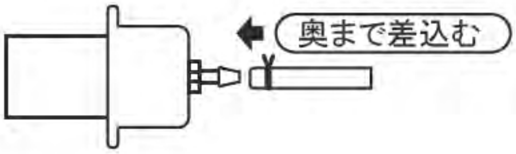
注）電磁弁カバーの上下を逆にすると
電磁弁の故障の原因になります。



②「**ゴム管**」を「**電磁弁**」の「**バルブジョイント**」に差込みます。
この時、予め「**ゴム管**」の先端に「**ホースクリップ**」を配置し、「**ゴム管**」と一緒に差込む「**ホースクリップ**」の取付けが簡単になります。「**混合管**」の「**ガス噴出管**」も同様に取付ます。

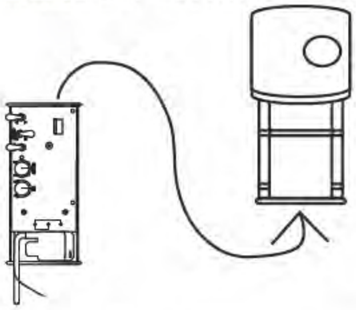
注）ゴム管内にゴミや泥などがあると
ガス噴出管が詰り音が小さくなったり鳴らないことがあります。
取付の際は、ゴム管にゴミや泥が無いことを確かめてから作業してください。





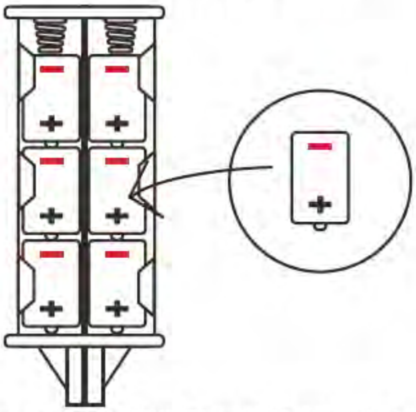
電磁弁コードの接続

①「**電子コントローラー**」の「**C型針金**」を外して「**コントローラーカバー**」を外します。

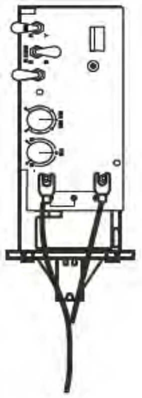


②「**電子コントローラー**」背面の電池挿入部にアルカリ単一乾電池６本を挿入します。
乾電池は（＋）・（－）の向きを間違えないように挿入してください。

注)乾電池を挿入するときは
電子コントローラーの
主電源を必ず「切」にして
から行ってください。
また、乾電池の向きを間
違えると基板の故障や、
乾電池の液漏れ、発火の
恐れがあります。



③「**電磁弁コード**」を「**電子コントローラー**」の「**出力端子**」に取り付け、「**結線ネジ**」で固定してください。「**赤線**」と「**黒線**」は左右どちらの「**出力端子**」に接続しても結構です。

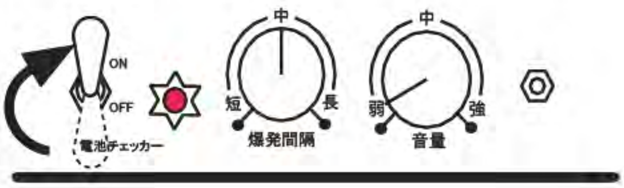


操作方法(動作開始)

①主電源スイッチが「**切**」の状態で「**電池チェックスイッチ**」をONにします。
「**電池チェックランプ**」が点灯することを確認してください。
点灯しない場合は電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。

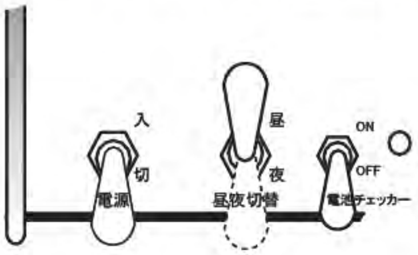
注1)ガスボンベの元栓は必ず
閉じた状態で操作を開始
してください。

注2)電池チェックスイッチは
主電源スイッチが「入」の
状態では動作しません。



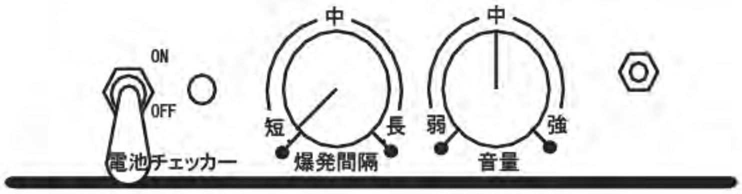
操作方法（動作開始）の続き1

②昼夜切替スイッチをご希望に合わせて「**昼**」または「**夜**」設定にします。



詳細に任意の時間に動作時間を設定したい場合は30分単位で動作「ON」「OFF」できる「タイガータイマー」（別売り）もあります。

③爆発間隔ダイヤルを「**短**」、爆音ダイヤルを「**中**」に設定します。



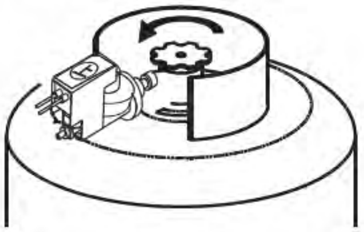
④ガスボンベの元栓を開きます。

（カセットガスタイプの場合）

1．バルブを開ける

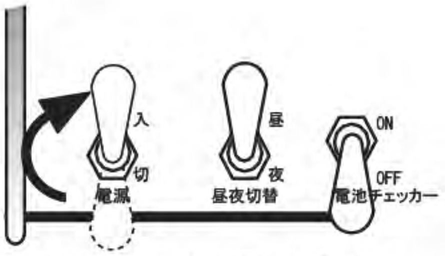
（プロパンガスタイプの場合）

1．バルブを開ける



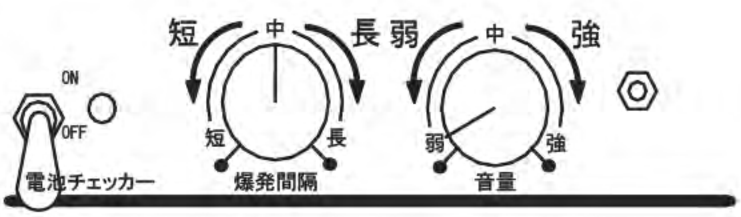
⑤主電源スイッチを「**入**」にして速やかに20m以上離れてください。
主電源スイッチを入れてから約３０秒で爆音を発します。

注）ゴム管内の空気を排出するまで、動作開始後数回は爆音を発しない場合があります。



⑥数回爆音を確認し、設置した環境に合わせ爆音間隔、音量を調整してください。
爆音間隔は最短「**短**」約30秒～最長「**長**」約10分の間で調整可能です。
爆発音量は「**おどし羽根**」がギリギリ上部の「**天板**」にあたる程度に設定してください。

注1）爆音間隔や音量を調整する際は、爆音を発した後、速やかに本体へ近づき主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。
注2）おどし羽根を強い勢いで打ち上げ続けると各所の劣化を早める原因となります。

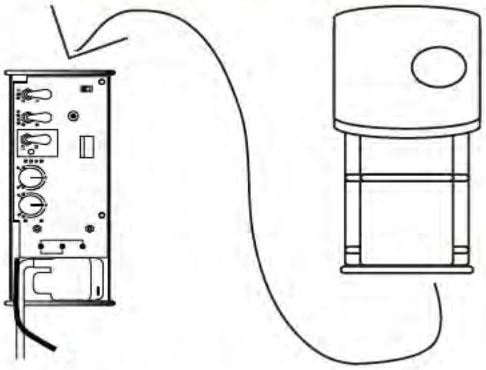


発射筒と電子コントローラ、ガス調整器との接続

＜カセットタイプ（LPE-BP）、プロパンガスタイプ（LPE-BPP）共通＞

操作方法（動作開始）の続き2

⑦設定が完了しましたら「**コントローラーカバー**」を被せて、C型針金で固定します。



補足（ガスボンベの取扱いについて）

＜カセットガスボンベ＞

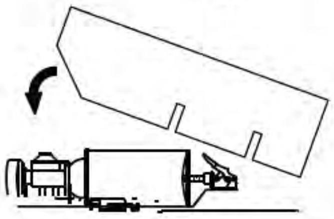
①必ずボンベカバーを取り付けて強い日差しを避け、風通しをよくしてください。

※カセットガスの特性上ボンベの温度が上昇するとガス圧調整器の安全装置が働いてガスの供給を一時的に停止することがあります。（もしも安全装置が作動した場合にはガスボンベを一度取り外して頂くことでリセットできます。その後温度を下げたガスボンベを再装着してご使用ください。）

②強い衝撃や鋭利なものでボンベに裂傷を与えないようにしてください。
（その他ガスボンベに記載の注意事項を遵守してください。）
③元栓の開閉は静かに行ってください。

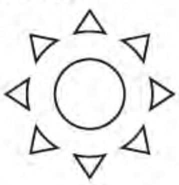
推奨カセットガス　「ｲﾜﾀﾆｶｾｯﾄｶﾞｽ」（通常使用）
「ｲﾜﾀﾆｶｾｯﾄｶﾞｽﾊﾟﾜｰｺﾞｰﾙﾄﾞ」（低温時使用）

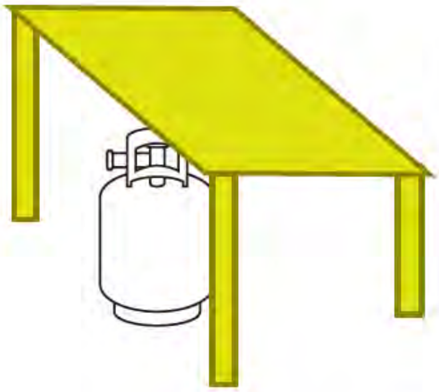
■ｲﾜﾀﾆｶｾｯﾄｶﾞｽ使用時：外気温　10℃～30℃での使用※
■ｲﾜﾀﾆｶｾｯﾄｶﾞｽﾊﾟﾜｰｺﾞｰﾙﾄﾞ使用時：外気温　5℃～25℃での使用※
※目安の温度であり、状況により若干の範囲外でも使用（燃焼）できる場合があります。



＜プロパンガスボンベ＞

①ガスボンベは強い日差しを避け、風通しの良いところに設置してください。
②ガスボンベが転倒したり、破損することのないようにご注意ください。
③元栓の開閉は静かに行ってください。





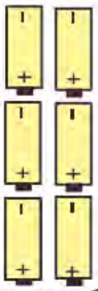
故障かな？と思ったら･･･（本体編）

⓪ チェックの前に！

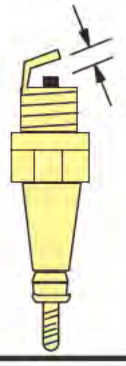
1. 乾電池の残量
2. ガスボンベ（カセットボンベ）の残量
   このニつを確認してください

① 乾電池は正しくセットしていますか？

6本とも同じ方向です。



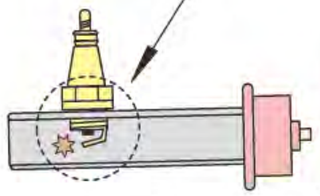
② 点火プラグのスキマは、約2～2.5㎜ですか？



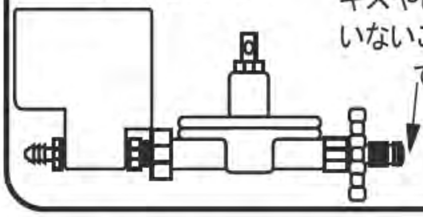
スキマの目安は500円玉の厚みです。

③ 点火プラグの方向は？

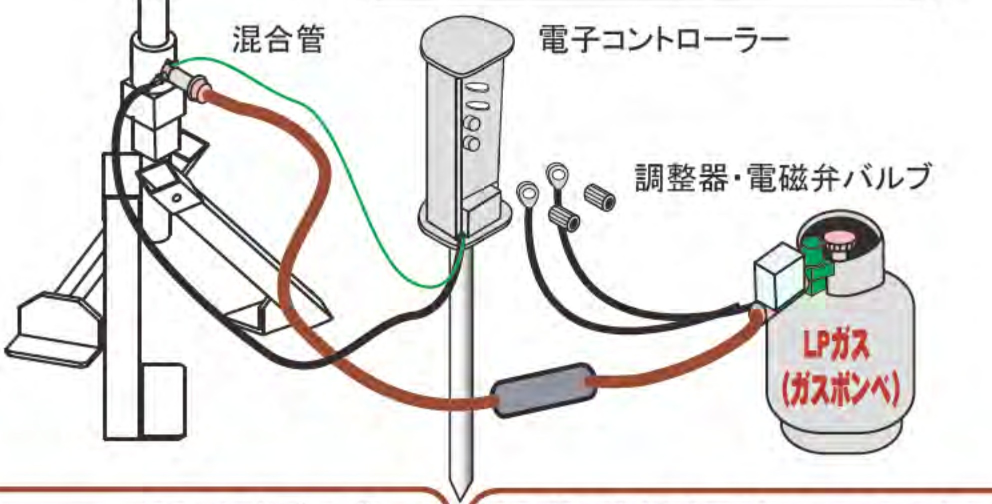
正しい方向にセットしてください。



④ 調整器ゴムパッキンが劣化していませんか？

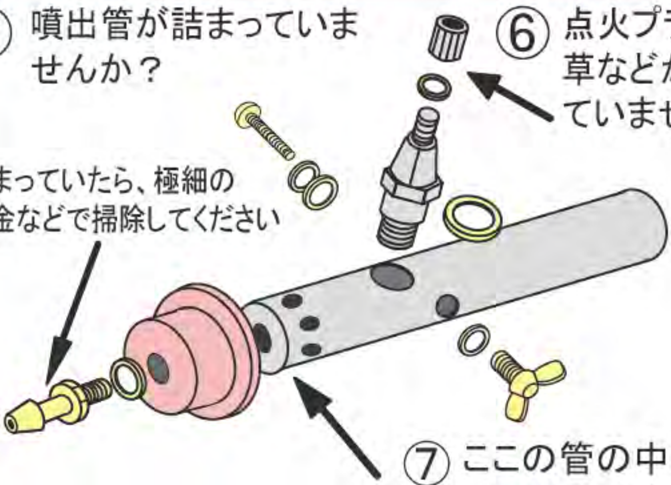


キズやヒビが入っていないことを確認してください。



⑤ 噴出管が詰まっていませんか？

詰まっていたら、極細の針金などで掃除してください

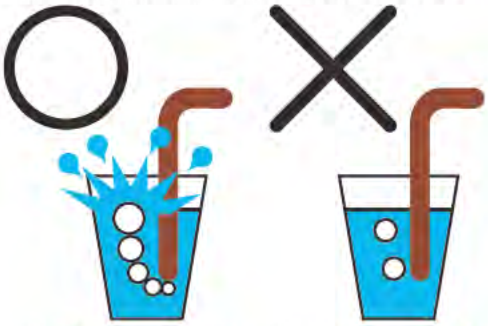


⑥ 点火プラグに草などが触れていませんか？

⑦ ここの管の中にカエルや虫などが詰まってませんか？

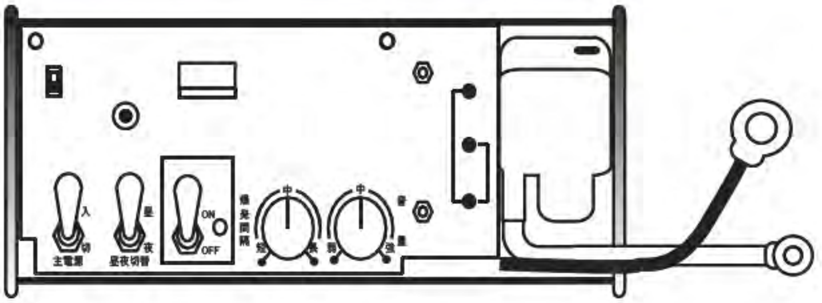
⑧ ガス流れが悪くなっていませんか？

コップに水を入れて確認できます。
水があふれるくらい勢いが良ければ問題なし

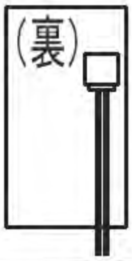


※電磁弁を開いていない時にホースから気泡が出てくるようであればガス漏れをしていますので修理にお出しください。

故障かな？と思ったら・・・（電子コントローラー編）



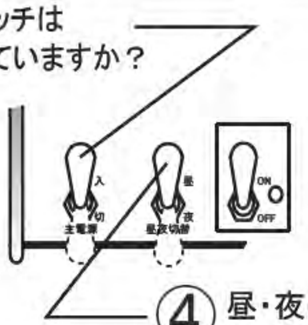
①
プリント基板裏面の電源コネクターが外れていませんか？



② 外部入力スイッチが外部側になっていませんか？

スイッチが外部モードのときは正常に動作しません。

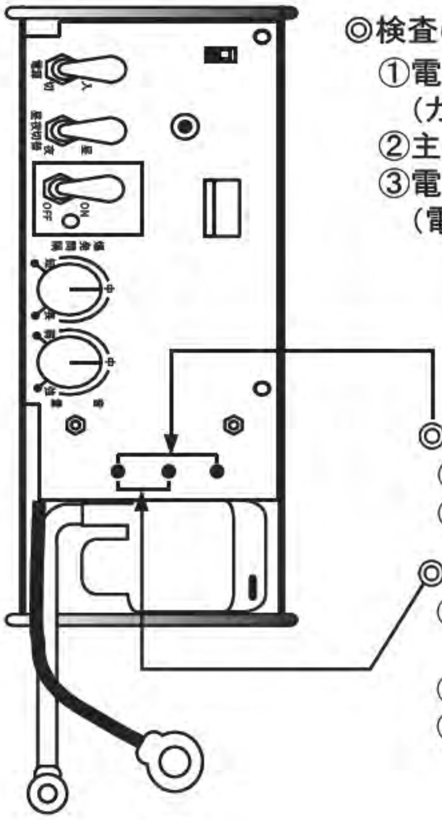
③ 主電源スイッチは“入”になっていますか？



④ 昼・夜の設定は間違っていませんか？

故障かな？と思ったら・・・（電磁弁と点火ユニット編）

（補足）これは動作不良が電磁弁と点火ユニットに起因するものか他に起因するかを調査する方法です。



◎検査の前に
①電磁弁コードを電子コントローラーに取付けます。
（ガスボンベなどに取付けてある場合ははずしてください。）
②主電源スイッチを“切”にします。
③電池をセットします。
（電池残量が残っていることを確認してください）

◎電磁弁の検査
①電磁弁チェック端子の両端を針金などでショートします。
②電磁弁から「カッチ」という開閉音がすれば、正常です。

◎点火ユニットの検査
①高圧コードとアース線の丸端子を1㎜程度離して、木台などの絶縁物の上にセットします。
②点火ユニットチェック端子の両端を針金などでショートします。
③高圧コードとアース線の丸端子間に火花が飛び「パチパチ」と音がすれば点火ユニットは正常です。

仕様・能力

運 転 モ ー ド	昼 ／ 夜
昼夜検知方式	光センサー
運 転 間 隔	約30秒～10分 （無段階可変）
電　　源 （電池・バッテリは別売）	（単一乾電池3本×2） DC4.5V
使 用 ガ ス	カセットボンベガス（－BP2） プロパンガス（－BPP2）
ガス使用期間（目安）	約7日 約240日
電池使用期間（目安）	約60日

注１）１０Ｋｇボンベ使用で、音量は「中」に爆音間隔は「中」に合わせたときの使用期間です。
ただし、お使いの状況により変動します。
注２）「イワタニカセットガス」「イワタニカセットガスパワーゴールド」使用時に、音量は「中」に爆発間隔は「中」に合わせたときの使用期間です。お使いの状況により変動します。
注３）富士通アルカリ単一乾電池使用時に音量は「中」に爆音間隔は「中」に合わせたときの使用期間です。
ただし、お使いの状況により変動します。

★本仕様および外観は製品改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
この取扱説明書は平成24年8月現在のものです。

＊鳥獣害防止の得意技あります――。

タイガー株式会社

（ホームページ：http://www.tiger-mfg.co.jp）

本社
〒565－0822
大阪府吹田市山田市場10番1号
TEL：(06)6878－5421
FAX：(06)6875－5677
メール：info@tiger-mfg.co.jp

東京支店
〒262－0023
千葉市花見川区検見川町5－2348－3-A
TEL：(043)298－4888
FAX：(043)298－4889
メール：animal@tiger-mfg.co.jp

九州支店
〒862－0969
熊本市南区良町2丁目8番12号
TEL：(096)378－0852
FAX：(096)378－0906
メール：kyuusyuu@tiger-mfg.co.jp

LPE-BP(P)F20141210